■令和８年度施策評価及び外部点検シート（第２次糸島市長期総合計画施策評価一覧表）
重点課題：経済活性化（稼ぐ）への取組　　施策：“糸島しごと”のブランド化プロジェクト

【施策評価】

通し番号	施策統括課	施策統括部	関係課	R7事業数	R7決算額（千円）	指標NO	施策に関する目標達成指標	単位	現状（R1）	R7実績	R7目標	年度達成率	計画期間達成率	平均達成率	施策の達成度	【施策の総括】 前期基本計画における施策の総括として、以下を記載してください ①取組の成果、②達成状況の分析、③後期基本計画に向けた取組の方向性
61	商工振興課	経済振興部	ブランド政策課、学校教育課、水産林務課、農業振興課、学研都市づくり課	5	18,325	165	市内で就業している人の割合	%	52.1	53.4	55.0	97.1%	44.8%	36.4%	D	①取組の成果 No.165は、テレワークの推進や市が運営する「しごとさがしサイト」の活用等により、市内就業者数の増加につながった。 No.166は、商工会と連携した新規起業者応援事業などの実施により、令和７年度62件の市内創業につながった。 No.167は、令和５年度から全中学校で起業家教育を実施したことにより、将来の夢や目標を持つ中学生の増加につながったものと推察される。 ②達成状況の分析 市内就業者の割合は、テレワーク推進や「しごとさがしサイト」の活用等の効果により、令和７年度目標には至らなかったものの、達成率97%と概ね目標を達成することができた。 創業件数は、創業支援の充実と効果により、令和７年度目標には至らなかったものの、達成率86%と概ね目標を達成することができた。 将来の夢や目標を持つ中学３年生の割合は、全中学校での起業家教育の実施効果により、令和７年度目標には至らなかったものの、令和３年全国地68.6%を上回ることができた。 ③後期基本計画に向けた取組の方向性 テレワークやスポットワークの推進を引き続き図っていくとともに、女性の雇用の場の確保の促進を図る。 商工会と連携した創業支援については、創業者数の増加につながっていることから、今後も支援内容の充実を図る。 起業家教育については、起業家精神や起業家的資質・能力の育成を目的として、今後も継続的に実施し、意識改革につなげていく。
						166	創業件数（商工会支援件数）【再掲】	件	44	62	72	86.1%	64.3%			
						167	将来の夢や目標を持っている中学３年生の割合（全国学力・学習状況調査）※R3全国値：68.6%	%	72.9	69.0	75.0	92.0%	0.0%			

【事務事業評価】

歳出科目（R7決算）					担当部署	事業始期	事業終期	会計	事業概要(対象、手段、目的、成果)	活動指標の状況									決算・予算(千円)					事務事業の評価		関連施策指標NO
款	項	目	事業２名	事業３名						活動指標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	R7計画	R7達成率（%）	目標値（事業終期）	R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R7決算	評価	R7事務事業の評価の所見 指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由	
2	1	7	移住・定住促進事業費	テレワーク推進事業（実計）	ブランド政策課	令和３年度	令和８年度	一般会計	対象 市内の就労者及び就労意欲がある人、テレワークを進める事業所 手段 ①糸島市テレワークセンターの維持管理（相談業務含む） ②テレワーク普及のための啓発及び情報発信 テレワーク初心者のための講座や勉強会、SNSによる情報発信 目的 テレワークの普及・啓発を行い、新しい働き方を推進することで、雇用創出・雇用機会の拡大を図り、人材発掘や労働力の確保を行うとともに、実践者の魅力的な暮らし方を発信するなど“糸島しごと”のブランド化を図ることで、市の魅力向上を目指す。 成果 ・テレワークセンター利用状況等 年間開館日数215日、年間利用者数846人 ・テレワーク推進講座 テレワーク初心者向けの講座を２回開催　参加者52人 ・テレワーク普及講座 SLACK、ZOOM、Googleドライブ、Notion、CANVAなどのツールの使い方講座を年間を通じて実施　参加者数57人 ・その他 ＳＮＳ（メルマガ、Facebook、Twitterなど）による情報発信441回 ・テレワークセンターの新規利用者数が令和６年度の98人から138人へ大幅に増加	糸島市テレワークセンター新規利用者数	32	77	132	230	236	130	181.5	300	1,472	2,016	2,089	2,044	2,814	A	初心者向けの講座や研修会を積極的に開催したことで、テレワークセンターの新規利用者が増加し、市民へのテレワークを活用した柔軟な働き方の着実な浸透につながった。	165

【事務事業評価】

歳出科目（R7決算）					担当部署	事業始期	事業終期	会計	事業概要(対象、手段、目的、成果)	活動指標の状況									決算・予算(千円)					事務事業の評価		関連施策指標NO
款	項	目	事業２名	事業３名						活動指標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	R7計画	R7達成率(%)	目標値(事業終期)	R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R7決算	評価	R7事務事業の評価の所見 指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由	
2	1	7	協定締結大学等連携推進事業費	大学生等インターンシップ事業（実計）	学研都市づくり課	令和６年度	令和７年度	一般会計	対象 　大学生等：市内の企業等でのインターンを希望する大学生、大学院生、短期大学生、専門学校生、市内に所在する高校の生徒及び市内在住の高校生 　企業等：市内で事業を営む事業者 手段 　民間委託を行い、受託業者は大学生等及び企業等をそれぞれ募集し、各ニーズを把握した上でマッチングする。また、受託業者はコーディネーターを配置し、大学生等や企業等間の調整を行い、インターンの効果が上がるよう、プログラムの作成や面談の実施等を行う。コーディネーターは、大学生等に対して糸島で働くこと・暮らすことの魅力を伝え、企業等への就職や企業等が委託契約できる関係性づくりを支援する。 目的 　大学生等の本市への就職と本市への定住・定着を促進するとともに、企業等が求める人材採用、自社の魅力再認識、業務効率化などの機会を創出する。 成果 【令和７年度実績】 　マッチング数10件（大学生等21人、企業等10社） 【令和６年度実績】 　マッチング数４件（大学生等５人、企業等４社）	大学生等とマッチングした企業等数（社）	－	－	－	4	10	10	100.0	10	－	－	－	2,346	3,539	A	学生等が糸島で働くこと・暮らすことの魅力を知る機会が創出されており、市内への就職を促進するために有効な事業である。	165
7	1	2	商工会補助事業費	新規起業者応援事業（実計）	商工振興課	平成25年度	令和９年度	一般会計	対象 開業を希望する市民及び開業したばかりの事業者 手段 事業主体である糸島市商工会に対する補助 目的 起業セミナー（創業塾）や専門家相談会の開催、創業関連資金融資の利子補給や、空き物件のリフォームに対する経費の一部を補助することで、新規起業者の増加につなげ、新たな企業活力を呼び込むことができる。 成果 【令和３年度実績】新規起業者数：48件、創業塾の開催（年２回）：45人参加、専門家相談会の定期的な開催：５回、経営指導員による支援：258回、創業関連資金融資利子補給：11件、店舗等リフォーム補助：９件、創業機運醸成セミナーの開催（年４回）：149人参加 【令和４年度実績】新規起業者数：82件、創業塾の開催（年４回）：109人参加、専門家相談会の定期的な開催：０回、経営指導員による支援：366回、創業関連資金融資利子補給：26件、店舗等リフォーム補助：11件、創業機運醸成セミナーの開催（年４回）：138人参加、創業者サロンの開催（年１回）：25人参加 【令和５年度実績】新規起業者数：73件、創業塾の開催（年４回）：89人参加、専門家相談会の定期的な開催：０回、経営指導員による支援：342回、創業関連資金融資利子補給：22件、店舗等リフォーム補助：９件、創業機運醸成セミナーの開催（年３回）：109人参加、創業者サロンの開催（年２回）：30人参加 【令和６年度実績】新規起業者数：66件、創業塾の開催（年４回）：92人参加、専門家相談会の定期的な開催：０回、経営指導員による支援：316回、創業関連資金融資利子補給：21件、店舗リフォーム等補助：４件、創業機運醸成セミナーの開催（年３回）：163人参加（オンライン含む）、創業者サロンの開催（年２回）：22人参加 【令和７年度実績】新規事業者数：62件、創業塾の開催（年3回）：94人参加、専門家相談会の定期的な開催：０回、経営指導員による支援：428回、創業関連資金融資利子補給：22件、店舗リフォーム等援助11件、創業機運醸成セミナーの開催（年３回）：67人参加（オンラインも含む）、創業者サロンの開催（年１回）：16人参加	新規起業者数	48	82	73	66	62	72	86.1	72	3,653	5,077	3,696	2,744	5,276	A	商工会と連携した様々な支援策の実施により、新規起業者が増加している。引き続き、商工会が実施するワンストップ窓口をはじめ、市内での企業に繋がる取組を実施していく。	166

【事務事業評価】

歳出科目（R7決算）					担当部署	事業始期	事業終期	会計	事業概要(対象、手段、目的、成果)	活動指標の状況									決算・予算(千円)					事務事業の評価		関連施策指標NO
款	項	目	事業２名	事業３名						活動指標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	R7計画	R7達成率(%)	目標値(事業終期)	R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R7決算	評価	R7事務事業の評価の所見 指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由	
7	1	2	その他商工振興費	副業人材活用伴走支援事業（実計）	商工振興課	令和６年度	令和８年度	一般会計	対象者 市内の商工業者 事業内容・手段 （事業内容）市内商工業者の課題解決や新規プロジェクトの立ち上げ等を、専門的な知見・経験を持つ副業人材と結び付け、課題解決や発展を支援する。さらにその効果を発信することで、「副業プロ人材の活用」を市内で浸透させる。 （手段）事業内容が実行できる企業に委託する。 目的 市内において商工業者に副業人材の有用性を浸透させ、「副業人材活用」の文化を醸成する。 成果 令和６年度は10社、令和７年度10社支援し、成功事例と伴走支援の経験を蓄積。 事後アンケート「副業人材の活用は市内事業者にとって有用か」に対し令和７年度活用した事業者のうち回答のあった８社が有用またはやり方次第で有用と回答。	副業人材を活用した事業者数	－	－	－	10	10	10	100.0	30	－	－	－	6,000	6,000	A	「副業プロ人材の活用」により市内事業所の課題解決につながる取組となっている。目標どおり10事業者へ支援を行い、活用した多くの事業者も有用性を感じている。さまざまな事業者の活用事例を公表し、市内事業者が抱える課題解決の手法の１つとして展開できるようにしていく。	166
10	3	1	中学校管理費	中学生起業家教育推進事業（起業家教育分）（重プロ）	学校教育課	令和３年度	令和７年度	一般会計	対象 中学生 手段 民間の起業家教育のプログラムを活用し、総合的な学習の時間の中で「起業家教育」を全中学校で実施。 民間委託により、ワークブック、動画教材を使用した授業支援サービス、指導ガイド等の支援を受け実施。 令和３、４年度はモデル校で実施し、令和５年度から、全中学校で実施。 目的 進路への関心・意欲を高めるとともに、これからの時代を生きていくために必要なチャレンジ精神、創造性、探究心、プレゼンテーション力・コミュニケーション力等を育成する。 成果 【令和７年度実績】 ・起業家教育スタートブックをもとに全中学校で起業体験を実施。	起業家教育を実施した学校数	1	1	6	6	6	6	100.0	6	726	693	695	697	696	A	令和７年度は継続して全中学校において取組を実施した。教育の日イベントにおいて、起業家や市民の方々へ全中学校による取組紹介や生産物の販売を実施し、市民へ起業家教育の提案をしている。	167

■令和８年度施策評価及び外部点検シート（第２次糸島市長期総合計画施策評価一覧表）
重点課題：学術研究都市づくり　　施策：“糸島サイエンス・ヴィレッジ”実現化プロジェクト

【施策評価】

通し番号	施策統括課	施策統括部	関係課	R7事業数	R7決算額（千円）	指標NO	施策に関する目標達成指標	単位	現状（R1）	R7実績	R7目標	年度達成率	計画期間達成率	平均達成率	施策の達成度	【施策の総括】 前期基本計画における施策の総括として、以下を記載してください ①取組の成果、②達成状況の分析、③後期基本計画に向けた取組の方向性
62	学研都市づくり課	経済振興部	都市計画課、学研都市づくり課	1	41,153	168	サイエンス・ヴィレッジへの参入企業・研究所等数	社	0	1	2	50.0%	50.0%	50.0%	C	①取組の成果 令和６年度に、（一社）SVI推進協議会等の出資により、SVI実現のための事業主体となるイトシマ㈱が設立され、SVIの拠点である旧清掃センターに入居した。また、SVIへの立地企業を確保するため、令和７年度は延べ303団体・659人に対して案内・協議・営業活動を実施した。その結果、令和７年度末時点で６社からSVI第１期エリアへの立地意向が表明され、都市計画法の地区計画に関する県との事前協議を行い、法定手続きを進めることができる前段階まで進展した。 ②達成状況の分析 参入企業はイトシマ㈱の１社で、達成率は50%であるが、上記６社の立地意向が表明されている。 ③後期基本計画に向けた取組の方向性 令和８年度以降も引き続き、SVI推進協議会の拠点である志摩馬場において実証事業のショーケース化を図り、SVIの実現に向けた取り組みに賛同してもらえる企業等を増やし、参入・立地につなげていく。また意向を表明している６社が確実に立地できるよう、令和13年度の土地の引き渡しに向けた第１期のスケジュールを適切に進めていく。

【事務事業評価】

歳出科目（R7決算）					担当部署	事業始期	事業終期	会計	事業概要(対象、手段、目的、成果)	活動指標の状況									決算・予算(千円)					事務事業の評価		関連施策指標NO
款	項	目	事業２名	事業３名						活動指標	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7実績	R7計画	R7達成率（%）	目標値（事業終期）	R3決算	R4決算	R5決算	R6決算	R7決算	評価	R7事務事業の評価の所見 指標の達成状況、事業費、施策貢献度などを加味した評価理由	
2	1	7	九州大学連携推進費	糸島サイエンス・ヴィレッジ実現化事業（重プロ）	学研都市づくり課	令和２年度	令和７年度	一般会計	対象 （一社）ＳＶＩ推進協議会 手段 糸島市や九州大学などの産学金官で構成する（一社）ＳＶＩ推進協議会を中心として各種プロジェクトを展開しながら、九州大学伊都キャンパス西側地区に糸島サイエンス・ヴィレッジを実現させるための協議・検討を進める。 目的 さまざまな分野の企業・研究者や学校などが集積し、イノベーションや新産業が生まれ、地域と大学の学生・教職員などが活発に交流する真の学術研究都市を構築する。 成果 糸島サイエンス・ヴィレッジの実現 【令和３年度】 （一社）ＳＶＩ推進協議会事務所（旧清掃センター）の環境整備 【令和４年度】 ローカル５Ｇ設備及びサーバー設置 【令和５年度】 SVIまちづくり構想策定 太陽光パネル設置、直流給電による照明点灯 【令和６年度】 事業主体となるイトシマ株式会社設立 ローカル5G事業と直流事業を融合したエネルギーポール、スマートポール設置 【令和７年度】 建物の一部を直流給電化、エネルギーポール増設	訪問・協議・視察対応した企業・団体数（延べ数・累計）	-	264	620	922	1,225	1,000	123	1,000	808	650	18,989	29,562	41,153	A	実証事業が進み、SVIまちづくり構想を実現化する事業主体となるイトシマ株式会社も立ち上がったことにより、企業の視察対応件数が増えた。 九州大学の教員や学生による視察もあり、取組を周知する活動として十分な達成状況であった。	168